

就学援助 申請受付は6月からです

☎教育振興課学務係 ☎63-1659

小中学校での義務教育の円滑な実施のために、就学援助制度を設けています。就学援助制度は生活保護に準じた制度で、経済的な理由で就学が難しいと認められる児童生徒の保護者に、次のような援助を行います。

教育委員会で審査を行い、一定の基準で支給対象となるかを決定していますので、申請すれば必ず支給される制度ではありません。

●就学援助費の内容

新入学学用品費、学用品費、修学旅行費、給食費、医療費（ただし特定の病気のみ）

●申請書提出期間・場所

6月1日から学校が指定する日までに、各学校にある申請用紙に必要事項を記入し、添付書類とともに直接学校へ提出してください。申請期間を過ぎたら、原則として申請書を受け付けることができません。申請期限を学校に確認し、提出漏れがないようご注意ください。

※昨年度、就学援助を受けていた世帯が本年度も引き続き就学援助を希望する場合も、新たに申請が必要です。

※子どもが小学校と中学校に通学している世帯は、それぞれの学校に申請書を提出してください。

※申請期間が過ぎた後で就学援助を希望する状況になった場合は、学校にご相談ください。

●就学援助の対象

- ①生活保護の停止または廃止があった世帯
- ②個人事業税の減免、市町村税の非課税・減免または固定資産税の減免を受けている世帯
- ③国民年金保険料の免除を受けている世帯
- ④国民健康保険税の減免または猶予を受けている世帯
- ⑤児童扶養手当の支給を受けている世帯
- ⑥生活福祉資金の貸付を受けている世帯
- ⑦その他生活保護に準ずる程度に経済的に困窮している世帯

●申請に必要な書類

世帯全員の収入が分かる書類*と、上の申請理由に応じて次の書類が必要です。

- ①生活保護を受けていたことの証明書または停止・廃止決定通知書の写し
 - ②③④各税・保険料を減免されたことが分かる書類
 - ⑤児童扶養手当受給資格者証の写しなど
 - ⑥貸付証明書
- *収入が分かる書類…所得課税証明書（生計が同一と認められる全ての人の分が必要。ただし、16歳以下と就業していない高校生・大学生を除く）など。



特別支援学級
特別支援学校

就学学習会に参加しませんか

☎福祉課福祉係 ☎63-1406

小学校に入学する前に特別支援学級や特別支援学校への就学に関する疑問や不安について考えてみませんか？

●日時 6月24日（日）午前10時～正午
（受付 午前9時45分～）

●場所 ふれあい福祉センター2階大会議室

●内容

- ・講話①「子どもの理解と支援」～巡回相談員の立場から～ ②「就学までの流れについて」
- ・座談会 ・個別相談会

※座談会・個別相談は希望する人のみ

●講師 甲斐原巖さん（荒尾支援学校教諭）
荒岡格生（荒尾市教育委員会指導主事）

●対象者 特別支援学級や特別支援学校への進学を希望、または検討している保護者

●参加費 無料

●定員 40人



●申込先 荒尾市障がい者自立支援懇談会子ども部会事務局（福祉課福祉係）

●申込期限 6月14日（木）

※託児は申し込みをするときにご相談ください。（会場などの都合で人数に限りがあります）

Town Topics

ま ち の 話 題

ARAO CITY

5/13

地域のおいしいものが集結！ 九州の真ん中「荒尾」から、元気を発信

～第1回サンキューフェスタ in 荒尾～

▶店の前は常に人でいっぱい。呼び込みの声も絶えませんでした。



グランプリ



牛スジ煮込み
鉾屋
（荒尾市増永）

準グランプリ（2品）



テール麺
麺屋台馬力屋
（大牟田市大正町）



豚ホホ角煮
一膳屋 菜根譚
（イオンモール大牟田内）

第1回サンキューフェスタ in 荒尾は文化センターで開催され、多くの人でにぎわいました。

この催しは、荒尾飲食店組合が地域活性化に役立てようと、新たな観光資源として「食」に注目し、企画しました。名物グルメを一堂に集めて各地の「食」をPRし、九州の真ん中から日本の元気を発信していきたいと、今年初めて開催したものです。

今回は、荒尾市内の他、大牟田市、久留米市、玉名市、山鹿市からおよそ40の飲食関係の店舗が出店し、「サンキュー」にちなんで、全品390円で自慢料理を提供しました。訪れた人は、噴水広場の特設ステージで行われた演奏やアトラクションを楽しみながら、いろいろな店を食べ比べて楽しみました。

イベントの中では、「おいしい料理グランプリ」が行われ、来場者からの投票で会場で一番おいしかった料理が選ばれました。今回、見事上位入賞を果たした料理と店舗は左のとおりです。

5/16

健康をチェックして元気に暮らそう

～看護の日フェスタ～

▶気軽に体調ををチェックし、健康を維持するきっかけになります。



看護の日フェスタは、市民病院で行われました。フローレンス・ナイチンゲールの誕生日である5月12日の「看護の日」にちなみ、市民病院看護師会が毎年開いています。血圧・血糖・骨密度など測定、管理栄養士や保健師への相談などを無料で受けることができるもので、健康へ関心を深めて病気を予防してもらおうと行われています。有明高校看護科の生徒10人が実習生として参加し、多くの人が自身の健康をチェックしていました。

荒尾市制施行70周年記念事業

70文字の愛ことば

長くつらい時、苦しい時に支えてもらい、勇気が出ました。信じることの大切さ、あきらめないことの大切さで、多くの仲間を知りました。高澤先生他スタッフの方々、ありがとうございました。

高澤先生他スタッフの方々へ 森都子さん（代洋東）

●70文字で、あなたの大切な人に気持ちを伝えてみませんか。ペンネームでもかまいません。（応募する場合は、作品と一緒に本名・住所・年齢・電話番号を書いてください。掲載時にはご連絡します）
〒864-8686（住所不詳）
荒尾市役所秘書広報課広報広聴係
☎63-1157 FAX63-1145（FAXでの応募もできます）
Eメール kochino@city.arao.lg.jp